

令和7年度 大田区立出雲小学校 自己評価 報告書

令和8年2月7日

○ 本校の概要

Table with 4 columns: 児童の現状, 地域の特色, 学校の課題, 学校の目標. Includes text about student status, regional characteristics, school challenges, and goals.

③ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Main evaluation table with columns: 大項目, 方向性, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, 今後の取組, 学校関係者記入欄. Contains detailed data for various categories like '生予個性測別' and 'お世個別'.

学 校 別 力 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	・児童アンケート「出雲の先生との勉強はいつもわくわくしている」は、学校全体でみると「当てはまる」約42%、「やや当てはまる」14%を合わせた約56%が肯定的な評価であった。昨年より約20%上昇した。6年生では、「当てはまらない」が約20%であった。学習内容も難易度が上がり、思春期にも差し掛かる難しい年頃であるが、子どもへの指導の仕方、教材の研究等の見直しを図り、教員の育成を引き続き行っている。 ・保護者アンケート「教師は、子どもが自分の思いや考えをもち、工夫してまめたり、発表したりすることができるよう授業を工夫している」と回答した割合。 ・教職員アンケート「校内でのOJTを生かし、互いに学び合い、組織的に授業力や指導力を高めている」と回答した割合。	4:80%以上 3:70%以上	・児童アンケート「出雲の先生との勉強はいつもわくわくしている」は、学校全体でみると「当てはまる」約42%、「やや当てはまる」14%を合わせた約56%が肯定的な評価であった。昨年より約20%上昇した。6年生では、「当てはまらない」が約20%であった。学習内容も難易度が上がり、思春期にも差し掛かる難しい年頃であるが、子どもへの指導の仕方、教材の研究等の見直しを図り、教員の育成を引き続き行っている。 ・保護者アンケート「教師は、子どもが自分の思いや考えをもち、工夫してまめたり、発表したりすることができるよう授業を工夫している」と回答した割合。 ・教職員アンケート「校内でのOJTを生かし、互いに学び合い、組織的に授業力や指導力を高めている」と回答した割合。	A 7	・研修およびOJTの取組を通して、教員の授業力・指導力の向上が概ね図られ、児童・保護者からも認知されていることは素晴らしいと思います。各先生の得意分野を生かしたOJTの実施により、教職員間の風通しがよくなり、組織力の向上につながっている点は非常に興味深かったです。 ・勉強を「わくわく」できる子どもは、苦手な子もいるのは、当たり前だと思ふ。苦手な子は、どこかの段階で理解しないまま学年が上がってしまうと想像します。なるべく年度末に、全員の理解度が上がるような事ができると更に良いと思ふ。 ・先生方のOJT研修が充実しており、素晴らしいと思います。6年生は、学ぶべきことの量も多く、詰め込みの学習になってしまいがちですが、子どもたちが楽しく学べるように教材や授業展開を工夫していただければと思います。 ・教職員が児童の成長のためにという教育の姿勢を確認、共有して連携を密にして年齢や経験を生かせるように工夫している。児童の育成に協力し合う様子が認められる。見て盗みの精神の時代は終わり、指導力を高めること、そして良い教育を実現してほしいです。 ・教職員は元来、すべてがOJTだと思ふが、教員間の相互啓発のことをいっているならば、そういえばかと思ふ。 ・11月の学習発表会を観覧させていただきました。一番に思ったことが、子どもたちがとても良い顔をしていることです。勉強だから、やらされているからという雰囲気も全くなく、体育館で発表した学年も教室で発表した学年もとても素敵な発表でした。 ・生徒を教育するうえで必要な教育能力の向上に努めている。		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	2:60%以上 1:60%未満	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。	B 1	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。	2:60%以上 1:60%未満	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。	C 0	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。
		④校内でのOJTを生かし、互いに学び合い、組織的に授業力や指導力を高めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。	1:60%未満	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。	D 0	・児童アンケート「学校が好きだ」毎日、学校が楽しいと回答した割合。 ・保護者アンケート「教師は、一人ひとりのことにもとって、居場所のある温かい雰囲気の子づくりを取り組んでいる」学校は、子ども一人ひとりの状況に合わせて学習環境を整え、こともば、学校生活を楽しくしている」と回答した割合。 ・教職員アンケート「インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている」と回答した割合。 ・「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している」と回答した割合。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。